

パーパス



エプソンが社会に対してどのような価値を提供する存在であるかを定めるとともに、エプソンならではの存在意義と志を社内外に示すため、エプソンは2022年9月にパーパスを制定しました。

エプソンがこれまで大切に磨き上げてきた「省・小・精」は、技術のみでなく、無駄を省き、より小さく、より精緻にするという考え方であり、そこからより大きな社会的な価値を生み出すことが可能です。

パーパスは、エプソンの従業員だけで成し得るものではなく、お客様やパートナー、社会へと共感を広げていくことで実現します。エプソンは社会の皆様と共に社会課題を解決し、人と地球を豊かに彩る未来を目指します。

MY PURPOSE STORIES#

エプソンが取り組む社会課題である「環境負荷の低減」「労働環境の改善」「分散型社会をつなげる」「インフラ・教育・サービスにおける質の向上」「ライフスタイルの多様化」をテーマに、6つの事例から構成されたビデオを公開しています。

各事例では、社会課題解決に向けたエプソンの取り組みを通して、人々の想いが実現されていく様子が描かれています。これらの事例のように私たちエプソンは、お客様やパートナーの皆様と共に社会課題を解決し、人と地球を豊かに彩る未来を目指します。ぜひご覧ください。

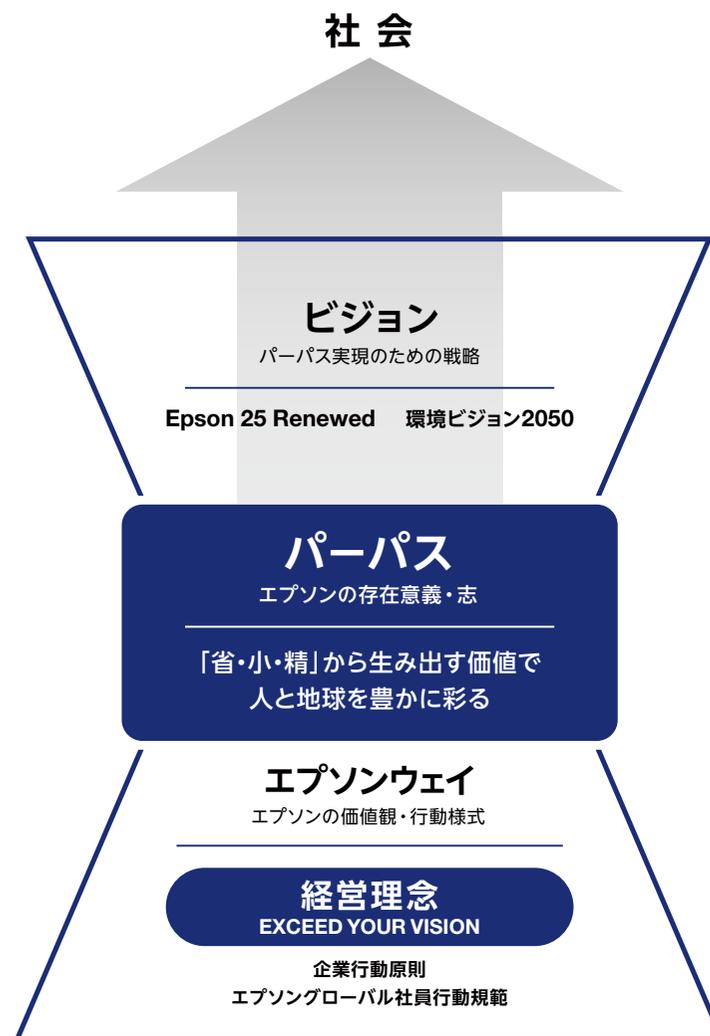


<https://www.youtube.com/watch?v=bUxV5uajlWU>



理念体系の考え方

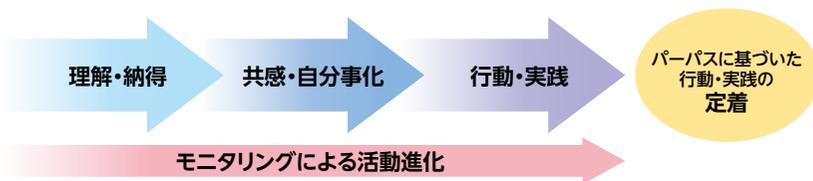
エプソングループのあらゆる企業活動の中心にはパーパスがあります。エプソンウェイの普遍的な考え方である経営理念を礎とし、ビジョンを実現することで社会へと新しい価値を提供します。



社内浸透活動

社内浸透活動ロードマップ

社内におけるパーパスの浸透は、パーパスへの理解・納得、パーパスへの共感・自分事化、パーパスに基づいた行動・実践を目標としたステップで進め、パーパスに基づいた行動・実践の定着を目指します。さらに、定期的なエンゲージメントサーベイやアンケートから浸透状況をモニタリングし、浸透活動を進化させていきます。



これまでの活動

パーパスを制定した2022年からパーパスへの理解・納得、共感を目的とした活動を実施してきました。方針大会、経営層からのメッセージ発信、e-ラーニング、社内報などの継続的な情報発信から従業員のパーパスへの理解・納得を深め、ワークショップを通して共感を広げてきました。また、関係会社・海外現地法人では、これまで多くの拠点で社長の小川自らがパーパス講話・対話会を実施し、パーパスへの理解、共感を深める機会となっています。

ワークショップの様子



日本



マレーシア



社内浸透活動

パーパス講話・対話会の様子



ペルー



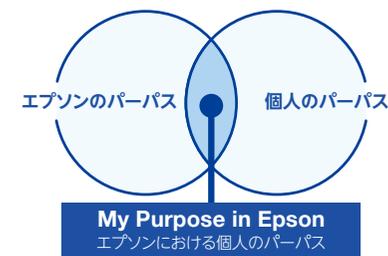
チリ

パーパス月間

2023年は、国内外全グループでパーパスの理解を深める期間として9月に「パーパス月間」を実施しました。仕事や人生を振り返りながら「エプソンのパーパス」と「個人のパーパス」の重なる部分である「My Purpose in Epson(エプソンにおける個人のパーパス)」を考え、職場で共有・対話するワークショップを実施しました。従業員から寄せられた意見や提案を反映しながら、毎年テーマを進化させることで今後もパーパスを考える機会を継続的につくっていきます。

従業員からのコメント

- 上司、同僚のパーパスを聞いたことで、今まで知らなかった考え方を知れた
- エプソンで働く意味を改めて考える機会となった



浸透状況のモニタリング

2023年下期に実施した全社アンケートの結果から、従業員の8割以上が理解している状態であり、パーパス浸透が進んでいることがわかりました。一方で、アンケート、e-ラーニング、研修で寄せられたコメントからは、納得がまだ不足していることが見えてきました。

従業員からのコメント

- 職場以外の人々のパーパスを見たい
- パーパスを具体的にイメージできない
- 自分の仕事がパーパスとつながらない

今後の取り組み

パーパスに基づく行動・実践を目指し、活動を継続していきます。2024年度は、パーパスへの納得が不足している内容をe-ラーニングや社内報で補いながら、パーパス月間を有効に活用し、パーパスへの共感・自分事化を進めます。